

日本の被災地のお友達へ送る手紙

親愛なる日本のお友達へ

こんにちは！

私は中国の小学生です。そして2008年5月12日の中国四川大地震で心に傷を負い、皆さんの支援を受けた子どもの一人です。あの時被災地はどこの地面も山も大きく揺れ、建物は倒壊し、多くの人々が亡くなりました。私たちの学校の校舎も被災してあちこちにひび割れができ、危険な建物に指定され、私たちはまともな授業が受けられなくなってしまいました。まさにこの困難に直面していた時、日本のお友達たちの皆さんがあなたたちに支援の手を伸ばし、日頃貯めていたお年玉を提供して、日本赤十字社の手を経て、私たちの学校まで届けてくれたのです。そして私たちの学校の先生たちはこのお金を使って新しい校舎を再建しました。それなのに、私たちが心からこの新しい校舎の完成を祝おうとしたまさにその時、皆さんにマグニチュード9.0の大地震と天を覆うほどの大津波に襲われ、この突然の災害で皆さんには家や家族、友人を失いました。でも皆さんにはこの困難に立ち向かい、心を強くして、勇気を支えに困難に打ち勝とうとしています。

日本のお友達へ、自然災害に負けず、勇気を持ち続けてください。私たちも皆さんをして下さったのと同じように、皆さんに困難を乗り越えるまで支援の手を差し伸べ、皆さんの恩にこたえます。皆さんに家族を失ったとしても、絶望しないでください。希望はまだ残っています。皆さんにはきっと奇跡を起こすでしょう。家を失ったとしても落胆しないでください。人は生きてさえいれば、必ず新しい家が建てられるはずです。友人を失っても、悲しみすぎないでください。言葉でその人の家族を慰めてください。皆さん自身がけがをしたとしても、大きな困難にであったからという理由で診察を受けに行かないようなことはしないでください。困難に直面したとき、それに負けないで勇気をもって立ち向かってください。日本を再び輝きを放つ街にしてください。だから私たちは奮い立ち、力を合わせて一緒に災害に立ち向かっていきましょう。

今後、皆さんのが再建されたら、一生懸命勉強して、大きくなったら自然災害の被害を防ぐ様々な方法を生み出し、皆さんの家庭がさらに美しく、栄え、賑わいますように。

皆さんに一日も早く困難を乗り越え、新しい家で暮らせますように。

中国の一人の小学生より

（王 新媛さん）

